

# 観光スポット

MAP B  
01



▲「追分の殿堂」として追分資料館・伝習演習室・追分道場なども備えています。

## 江差追分会館・江差山車会館

江差追分の体験教室のほか、4月から10月末まで1日3回江差追分の披露・指導実演を実施。併設の「江差山車会館」では姥神大神宮渡御祭で町を巡行する13台の中から2台を展示。150インチの大型スクリーンで祭りの賑わいと興奮の様子を、迫力ある映像で再現しています。

●江差追分会館・江差山車会館●  
江差町字中歌町193-3 ☎0139-52-0920  
9:00～17:00 月曜・祝日の翌日・12/31～1/5休館（ただし4/1～10月末日までは無休）  
入館料／大人500円、小・中・高生250円 P有

MAP B  
02



▲戊辰戦争中に榎本武揚らを乗せて活躍した開陽丸を復元しました。

## 開陽丸記念館

幕末にオランダで建造され、明治元年に江差沖で座礁、沈没した開陽丸を平成2年4月に実物大で復元。引き揚げ作業で発掘された遺物およそ33,000点の内、約3千点が展示されています。大砲の発射音や砲弾重量体験コーナーも人気です。

※現在工事により休館中のため、外観のみ見学できます。工事の状況により立ち入りを制限する場合がございますのでご了承ください。

MAP B  
03



▲檜山道立自然公園の特別区域に指定されており、散策路が整備されています。

## かもめ島

海拔30m、周囲2.6kmの美しい自然の小島は、まさに江差のシンボル。瓶子岩（へいしいわ）や西崖に見られる千畳敷など、見どころがいっぱいです。また、毎年7月に行われる「江差かもめ島まつり」には、町内外から多くの人々が訪れます。

●かもめ島●  
江差町字鷗島  
☎0139-52-1020（江差町役場）

MAP B  
04



▲町指定有形文化財である建物は昭和61年度に修復が完了し、一般に公開しています。

## 旧関川家別荘

江戸時代から明治30年代まで、江差で様々な商売を営んでいた関川家の別宅として、江戸時代末から明治時代初めに建てられました。蔵の中では、関川家に伝わった調度品を展示しています。

●旧関川家別荘●  
江差町字豊川町55 ☎0139-52-4220  
9:00～17:00(4月～10月無休・11月～3月休館)  
入館料／大人100円、小・中・高生50円 P有

# 観光スポット

MAP B  
05



▲情緒あふれる街並として、歴史的建造物を後世に伝えています。

## いにしえ街道

江差町は明治初期まで、北前船によるニシン漁とその取引、そして檜材交易で栄えたまち。その栄華を誇った問屋蔵や商家、町屋などの建造物がそのまま残されており、「いにしえ街道」は歴史の香り漂う街並として整備されました。

●いにしえ街道●

江差町字中歌町～姥神町～津花町  
☎0139-52-1020（江差町役場）

MAP B  
06



▲建立以来、3度の火災に見舞われましたが、現在の建物は明治24年に落成されました。

## 真宗大谷派江差別院 （東本願寺）

真宗大谷派（お東）の別院で道内屈指の木造建築寺院です。山の中腹にあり百八段の階段を上がり山門を入ると、重厚な屋根瓦の本堂があります。15間四面、周囲1.5mの柱が支える虹梁など往時の江差の隆盛と門徒の篤い信仰心を象徴しています。

●真宗大谷派江差別院（東本願寺）●

江差町字中歌町169 ☎0139-52-0069

MAP B  
07



▲建物は国指定重要文化財で、ニシン漁全盛時代を今に伝えています。

## 旧中村家住宅

明治20年代はじめに近江商人の大橋宇兵衛が建てた商家。越前石を積み上げた土台に、ヒノキアスナロ（ヒバ）を主材料にした切妻造りの二階建ての建物で、江差の商家建築の代表的な造りを見ることができます。

●旧中村家住宅●

江差町字中歌町22 ☎0139-52-1617

9:00～17:00 4月～10月は無休

11月～3月は月曜日・祝日の翌日休館

入館料／大人300円、小・中・高生100円 P無

MAP B  
08



▲明治時代の貴重な建物。壁や天井には華麗な布クロスが復元されています。

## 旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）

北海道庁の出先機関である郡役所と警察署の業務を執り行う建物として、明治20年に建てられました。北海道の有形文化財に指定されています。現在は江差郷土資料館として使われ、展示で江差の歴史文化を知ることができます。

●旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）●

江差町字中歌町112 ☎0139-54-2188

9:00～17:00 4月～10月は無休

11月～3月は月曜日・祝日の翌日が休館

入館料／大人300円、小・中・高生100円 P有

# 観光スポット

MAP B  
9



▲江戸時代に建設された当時の外観に戻し、使用できる部材は再利用しています。

## 江差町会所会館 (日本遺産ガイドンス施設)

いしえ街道における拠点施設のひとつ。江差町役場本庁舎として使用され、平成13年4月に江差町会所会館として建て替えられました。令和7年4月には江差町が認定されている日本遺産のガイドンス施設としてリニューアルオープンしました。

●江差町会所会館●  
江差町字中歌町76-1  
☎0139-52-1020 (江差町役場)  
9:00～17:00 4～10月は無休、  
11～3月は月曜・祝日の翌日が定休  
12月31日～1月5日の期間はお休みです。  
入館料／無料 P有

MAP B  
10



▲檜山奉行所の正門として建てられた山門。

## 法華寺

大永元(1521)年に上ノ国・勝山に創立され、寛文5(1665)年に江差に移転し、享保元(1716)年に復建され、今日に至ります。本堂の天井に描かれた「八方睨みの龍」は時の流れを見据え、荘厳さを現代に伝えます。

●法華寺●  
江差町字本町71 ☎0139-52-0355  
9:00～17:00 不定休  
入館料／高校生以上300円、小・中学生150円

MAP B  
11



▲昭和38年に北海道文化財に指定され、多くの観光客が訪れます。

## 横山家

江差で明和6(1769)年から漁業・商業・回漕業を営んでいた横山家。北前船によって交流が深かった京都文化の香りや今に残し、鯨漁全盛期に使われていた民具や生活用具を展示しており、当時の暮らしぶりが伺い知れます。※現在休館中のため、外観のみ見学できます。

MAP B  
12



▲毎年8月に「姥神大神宮渡御祭」が開催され、御神輿と山車がまちを練り歩きます。

## 姥神大神宮

言い伝えでは建保4(1216)年又は文安4(1447)年に折居姥の創建とされており、津花町より正保元(1644)年に現在地へ移転。「正一位 姥神大神宮」号を光格天皇より勅許された北海道最古の神社で、毎年8月には歴史と伝統を誇る道内最古の神事が盛大に行われます。

●姥神大神宮●  
江差町字姥神町99-1  
☎0139-52-1900

# 観光スポット

MAP B  
13



▲季節に応じた各種展示会が開催されています。

## 壺番蔵

明治期に建てられた蔵の2つが合併してできた建物。平成9年に江差町に寄贈され、現在は観光客などがいつでも自由に休める施設整備の必要性に加え、商店街や特産品などのイメージアップを図る施設としての役割も果たしています。

●壺番蔵●  
江差町字姥神町42-3 ☎0139-52-5789  
10:00～16:00 不定休  
入館料/無料 P有

MAP B  
14



▲現在の地に移転してきたのは1894年(明治27年)。

## 正覚院

400年以上続く曹洞宗の禅寺。1631年(寛永8年)、松前町から江差町へ。事前にご連絡頂ければ坐禅体験や法話を聴くことも可能です。坐禅をしてその後に粥(おかゆ)を食べて頂く「朝粥の会」も開催しております。(5月～10月まで毎月第4日曜朝6時半)日常の忙しさから少し離れてホッと時間を過ごせる寺院です。

●正覚院●  
江差町字本町271  
☎0139-52-0111

MAP B  
15



▲瓦の葺き替えは行われていますが、建物は当時のままの姿を残しています。

## 浄土真宗本願寺派本願寺 江差別院 (西本願寺)

松前藩の一宗一派政策により、本願寺派寺院の建立は永らく許されず、明治13(1880)年に多くの門徒の尽力により、本堂が建立されました。境内には古木の梅があり、毎年4月には見事な花を咲かせ、参拝者を和ませています。

●浄土真宗本願寺派本願寺江差別院(西本願寺)●  
江差町字本町212 ☎0139-52-0567

MAP B  
16



▲現在の本堂は明治22年(1889年)に建立されました。

## 金剛寺

日本海を望む中歌町の少し高台にある金剛寺。本堂には、町指定有形民俗文化財に指定されている「木喰仏」のほか、7月17日のみ公開される聖観音像。7月17日～8月末まで公開される十王図(地獄極楽絵図)など多くの文化的価値の高い作品が保存されています。※現在、寺内の説明は行っていません。

●金剛寺●  
江差町字中歌町168 ☎0139-52-0645  
12:00～17:00 不定休 P有  
観覧料/300円